

同支店は今後の見通しについて、「中小零細を中心に受注低迷にあえぐ企業はまだまだ多く、景気の二番底も心配される中で、一服感

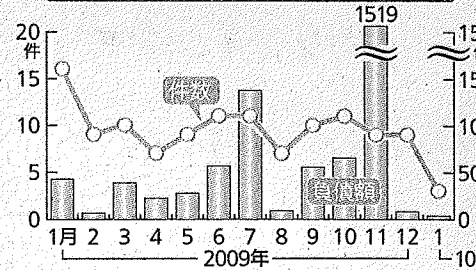


高松琴平電気鉄道(高松市)の発行するICカード乗車券「IruCa」が2月で丸5年を迎えた。電車・バスの乗車券だけでなく、地域の生活を便利にする「地域カード」を目指し市民に普及に普及。地域カード化に向けて、電子マネーを使える加盟店や公共施設を拡充する第一段階から、イルカの用途拡大を図る第二段階へと移行している。

イルカの発行枚数は約15万7千枚(1月末)。電車の乗客のうちイルカのIC乗車券の利用率は約80%に達する。

2006年11月から電子マネーがスタート。読み取り機は高松市中央商店街を中心に約150

県内企業倒産の推移



抗菌や血糖値の降

綾川の食品卸会社

取り組んでいる。4月の本格出荷を目指す、県内の飲食店や食品加工会社などと商談を進めている。同社によると、アロエベラを流通目的に生産しているのは県内で初めて。アロエベラは熱帯、亜熱帯地方に自生するユリ科アロエ属の常緑多年草。葉肉部分の無色透明のゼリー状の多糖体

4月出荷へ販路

は、抗菌作用や血糖値の降下作用があると考え、ヨーグルトやジュースなどの食用のほか、化粧水などに利用されている。食材として出荷できない葉は、お茶用の乾燥葉や粉末に加工して販売する予定。現在、同社では現在、高松市内の県内の飲食店や食品加工会社と商談を進めているほか、4月からは約1200本を管理しているほか、県内の契約農家2軒が計約2200本を栽培。昨年10月、試験的に出荷し、高松市内の飲食店で刺し

琴電「IruCa」5年

2.2.-5  
店に設置され、買い物の支払いが可能だ。行政関係の利用も拡大し、高松市役所は住民票写しなどの発行手数料を

地域カード化へ用途拡大

イルカで支払えるようにした。高松市や県の公共施設約20カ所でも料金の支払いに使える。

このほか、香川大では、ライナップがある

の積極展開は一段落し、今後は市民生活の利便性を向上に向けたサービスや機能が入れられる。

今後の取り組みのキー

実証事業のeヘルスケア

香川とびっくす

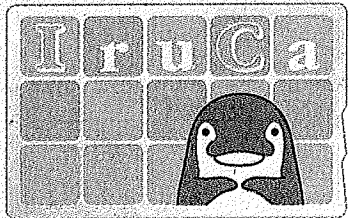
琴電「IruCa」の展開

発行枚数15万7千枚

IC乗車券  
電車の乗客の80%が利用

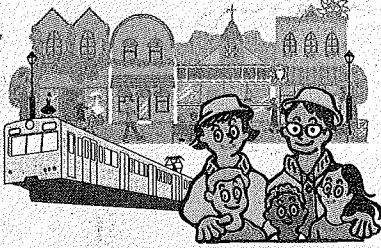
職員証・学生証  
香川大の学生証・職員証  
高松市の職員証

イベントカード  
「てくてくさぬき」タイアップ



電子マネー  
まちなかの150店で買い物  
高松市役所の手数料支払い  
公共施設の料金支払い

国の実証事業・実証実験  
eヘルスケア  
社会保障カード



も今後検討する。高松市の生活品質が向上したと評価してもらえようという意欲をみせる。

新設法

- ①社名②所在地③本金④目的
- ①三豊会計(株)
- 野町大見③09年9月
- ⑤法人・個人の会帳代行業務
- ④四国船装工業(市国分寺町福家③09
- ④100万円⑤船舶裝飾設備工事ほか
- ①(株)レントオ
- 高松市香西東町③09
- ④10万円⑥物品レン
- ①(株)自在②高
- 09年9月7日④30
- 食店経営ほか
- ①(株)TAKF
- 市太田下町③09年9
- 00万円⑥グラフィ
- ン製作ほか
- ①(株)ミマヤ鉄
- 御殿町③09年9月8
- ⑤鉄工所経営

動の一環として、に毎年この時期にの日は連合香川のに電話相談の窓し、職員らが対応この日は「人材から契約解除を確している」、「会社の中に伴って解雇されたの相談が寄せられ中には、駅やフェ場など県内8カ所などを配り、労働